

①～⑩のひらがなを漢字に直し、⑦⑧の漢字は読み方を書きなさい。

アリの巣には一定の**わりあい**①で働かないアリがいるとは聞いたことがある。しかし、ここまで何もしないアリの種類があるとは知らなかった。日本各地にいるサムライアリは、別の種類のアリの巣を乗っ取って働かせる。エサを集めさせ、**くちうつし**②で食べさせてもらう▼働き手が不足すると、よその巣から**たまご**③や幼虫をさらってくる。昆虫写真家、山口進さん(69)の**新著**④『**珍奇な昆虫**』⑤には、虫たちがつくる「社会」が数多く**描**⑥かれている。一方的に利用する関係もあれば助け合いもある▼**蝶**⑦の一種クロシジミの幼虫は体から**あまい汁**⑧を出してアリに**与**⑨え、アリの巣で**養**⑩ってもらおう。「虫と虫の関係は様々。何だか人間と**に**⑤ているでしょう」と山口さんは言う。共生をテーマに虫たちを追い、**居住**④する山梨県そして世界を飛び回ってきた▼昆虫から始まり、関心は広がる。どの虫とどの植物の関係が深いのか。農業が虫にどう**えいきょう**⑥するの。最近ではトンボのアカアカネが育ちやすい**伝統**⑦的な田んぼづくりに**みせ**⑦られ、新潟県に足を運ぶ▼約40年にわた

り「ジャポニカ学習帳」の表紙を**かざ**⑧つてきた虫や花の写真も、山口さんの作品である。しかしここ数年は「気持ち悪い」という声に**お**⑨され、虫の写真はなくなった。一部の**ふっこくばん**⑩を除き、花だけである▼「子どもは虫が好きだと思う。でも先生や親に苦手な人が**増**③えているのでしょう」と残念そうだ。昆虫を入りに、自然や科学へと目が開かれる。そんな道はこれから細くなってしまうのだろうか。

⑩	⑨	⑧	⑦	⑥	⑤	④	③	②	①
コ	ケ	ク	キ	カ	オ	エ	ウ	イ	ア

*解答のヒントになる文字は漢字をひらがなにしていることがあります。

語注

- ***くちうつし** くちからくちへ、飲食物をうつして飲み食いさせること。
- ***山口進** 1948年生まれ。昆虫植物写真家。自然ジャーナリスト。「ジャポニカ学習帳」の表紙の写真を撮影している。
- ***新著** 新しく書いた書物。↓旧著
- ***珍奇** 珍しくて普通とは変わっていること。
- ***共生** 異なる種類の生物が、お互いに作用し合う状態で生活すること。
- ***テーマ** 行動や作品などの根本にある基本的な考え。主題。
- ***居住** ある場所に住むこと。
- ***みせられ** 心をすっかりひきつけられ、うっとりさせられて。
- ***「ジャポニカ学習帳」** 富山県にある文具メーカー、シヨウワノート株式会社の学習ノート。1970年に発売。78年から山口進さんが写した世界の珍しい昆虫や植物の写真を表紙に採用。現在は、昆虫が不快との苦情を受けて、植物の写真だけを使っている。
- ***声におされ** ここでは、「声に負けて」といった意味。
- ***ふっこくばん** 本などで、原本どおりの新しいはんを作ってしゅっぱんすること。転じて、生産中止となったものなどを、過去と同じ形のまま、新しく生産すること。

①～⑩のひらがなを漢字に直し、⑦～⑩の漢字は読み方を書きなさい。

アリの巣には一定の**わりあい**①で働かないアリがいるとは聞いたことがある。しかし、ここまで何もしないアリの種類があるとは知らなかった。日本各地にいるサムライアリは、別の種類のアリの巣を乗っ取って働かせる。エサを集めさせ、**くちうつし**②で食べさせてもらう▼働き手が不足すると、よその巣から**たまご**③や幼虫をさらってくる。昆虫写真家、山口進さん(69)の**新著**④『**珍奇な昆虫**』⑤には、虫たちがつくる「社会」が数多く**描**⑥かれている。一方的に利用する関係もあれば助け合いもある▼**蝶**⑦の一種クロシジミの幼虫は体から**あまい汁**⑧を出してアリに与え、アリの巣で**養**⑨つてもらおう。「虫と虫の関係は様々。何だか人間と**に**⑩ているでしょう」と山口さんは言う。共生をテーマに虫たちを追い、**居住**する山梨県⑪として世界を飛び回ってきた▼昆虫から始まり、関心は広がる。どの虫とどの植物の関係が深いのか。農業が虫にどう**えいきょう**⑫するのかわかるのか。最近ではトンボのアカアカネが育ちやすい**伝統**⑬的な田んぼづくりに**みせ**⑭られ、新潟県に足を運ぶ▼約40年にわた

り「ジャポニカ学習帳」の表紙を**かざ**⑮ってきた虫や花の写真も、山口さんの作品である。しかしここ数年は「気持ち悪い」という声に**お**⑯され、虫の写真はなくなった。一部の**ふっこくばん**⑩を除き、花だけである▼「子どもは虫が好きだと思う。でも先生や親に苦手な人が**増**⑰えているのでしよう」と残念そうだ。昆虫を入りに、自然や科学へと目が開かれる。そんな道はこれから細くなってしまうのだろうか。

⑩	⑨	⑧	⑦	⑥	⑤	④	③	②	①
コ	ケ	ク	キ	カ	オ	エ	ウ	イ	ア

*解答のヒントになる文字は漢字をひらがなにしていることがあります。

語注

- ***くちうつし** くちからくちへ、飲食物をうつして飲み食いさせること。
- ***山口進** 1948年生まれ。昆虫植物写真家。自然ジャーナリスト。「ジャポニカ学習帳」の表紙の写真を撮影している。
- ***新著** 新しく書いた書物。↓旧著
- ***珍奇** 珍しくて普通とは変わっていること。
- ***共生** 異なる種類の生物が、お互いに作用し合う状態で生活すること。
- ***テーマ** 行動や作品などの根本にある基本的な考え。主題。
- ***居住** ある場所に住むこと。
- ***みせられ** 心をすっかりひきつけられ、うっとりさせられて。
- ***ジャポニカ学習帳** 富山県にある文具メーカー、シヨウワノート株式会社での学習ノート。1970年に発売。78年から山口進さんが写した世界の珍しい昆虫や植物の写真を表紙に採用。現在は、昆虫が不快との苦情を受けて、植物の写真だけを使っている。
- ***声におされ** ここでは、「声に負けて」といった意味。
- ***ふっこくばん** 本などで、原本どおりの新しいはんを作ってしゅっぱんすること。転じて、生産中止となったものなどを、過去と同じ形のまま、新しく生産すること。